

○「引き続き課題を検討へ」

(京都府宮津市 栗田地区連絡会議)(平成30年度第2回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年7月30日(月) 19:00～21:00
- 場 所: 宮津市栗田集会所
- 出席者: 藤井委員、中島委員、市田委員
荒砂推進委員、協力員11人
事務局2人 ※委員4人、委員以外13人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

写真・図面
(地区連の写真又は
必要に応じた活動の写真や図面)

2 地区の特徴、状況、課題

- 担い手は、認定農業者が2人いるが、それ以外がない
- 農地の状況は、優良農地が遊休化している状況のなか、中津地区は農家組合が維持管理。小田宿野地区は、借地の場合は地主から管理料を徴収して農事組合法人が管理している



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 利用状況調査確認会議後、引き続き意見交換へ(8/30)
- 意見交換(農業懇談会)
- 遊休農地の状況; ほ場整備外で遊休農地が多い。ほ場整備で30年経過した農地に遊休地が多い
対応としては、環境作物の栽培、地主が草刈り、保全管理、中山間や多面的事業で対応
- 地域の農業について; 4集落10戸で集落営農組織あり
水路の土砂除去が年々負担になっている
移住・交流の受け皿づくりの支援を要望

4 活動結果

- 情報・意見交換 3 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援